

4年ぶりの復活！ こけし村の祭典

弥治郎こけし村ふれあいまつり

9月9日、弥治郎こけし村ふれあいまつりを同村イベント広場で行いました。このイベントは10月から始まるこけし村のリノベーション工事を前に、こけしと白石の地場産品を楽しんでもらおうと企画。特設ステージではトークショーが行われ、「白石よござりす」メンバーソナリティの船越理香さんを司会に、白石市観光大使「ニホンジン」のエムサイズ佐久間さんと弥治郎系こけし工人の新山吉紀さん・真由美さん夫妻が、軽快なトークとお楽しみ抽選で来場者を楽しませていました。こけし村は平成30年春リニューアルオープン予定です。



▲お楽しみ抽選会で豪華景品が当たりました！

地域のものづくりを学びました

仙南地域ものづくり企業説明会

9月12日、仙南地域の高校生と企業がホワイトキューブに集まり、合同の企業説明会が行われました。この説明会は高校2年生を対象に、地元の製造業や建設業などの企業について知ってもらい、地域の人材の育成につなげようと宮城県が主催。地元の高校2年生約310人と企業37社が参加し、企業概要や製品などを説明しました。生徒は説明をメモにとったり積極的に質問したりするなど、意欲的な姿勢を見せていました。生徒は「地元企業のことを知れてよかったです。来年からの就職活動に生かしていきたいと思います」と話してくれました。



▲将来を見据えて、真剣に耳を傾ける生徒たち

姉妹都市でスポーツ交流

海老名・白石姉妹都市親善少年野球交流大会

8月19日、姉妹都市の海老名市と白石市の少年野球選抜チームが、白石川緑地公園野球場で姉妹都市親善少年野球交流大会を開催しました。この大会は、スポーツ交流をとおして姉妹都市の子どもたちの友情と相互理解を深め、両市の発展を目的に行われています。

試合当日はあいにくの雨模様でしたが、選手全員がはつらつとしたプレーで互いに健闘し、応援に来ていた家族などから歓声が飛びました。海老名市の選手は白石の選手宅にホームステイし、子どもたちの親睦を深めるなど、姉妹都市間の交流を行いました。



▲激闘後の握手。お互いに健闘をたたえ合いました

たくさん絵本をもらったよ

深谷保育園に絵本を寄贈

8月24日、生命保険協会宮城県協会から市内の保育園に絵本が寄贈されました。同協会は、県内の保育園に絵本を寄贈する活動を行っており、本市では深谷保育園、白石はるかぜ保育園に贈られました。

深谷保育園で行われた贈呈式では、小座間宏事務局長から園児たちに20冊の絵本が手渡され、園児たちは元気な歌と大きな「ありがとう」の言葉で感謝の気持ちを伝えました。新しい絵本を手にした園児は「お友達となかよく読みたいです」とうれしそうに話してくれました。子どもたちの豊かな心の成長が期待されます。



▲寄贈された絵本といっしょに。毎日の楽しみが増えました

地域課題の解決へ実践方法を学ぶ

白石笑顔未来塾 Part 2 を開催

8月27日、中央公民館で「白石笑顔未来塾Part2」を開催しました。人口減少が進む中、住民自らが地域の未来を考え、課題を解決しながら地域づくりに取り組むための勉強会で、3月に続き2回目の開催。勉強会には、鳥根県雲南市で地域自主組織制度の立ち上げを当初から支援している川北秀人さん（I I H O E【人と組織と地球のための国際研究所】代表）を講師に招き、基礎編と実践編を行いました。実践編に参加した市民約60人は、地域行事などを見直すための方法やヒント、住民へのアンケート作りをグループ演習を行いながら学びました。



1_ グループごとに作成した年間行事に対して、疑問点やアドバイスなどを付箋に書いて貼り付けていく参加者 2_ 講師の川北代表

リスク管理に対する支援を強化

地方創生に関する連携協定を締結

8月21日、本市は地域の活性化および住民サービスの向上に向け、相互の連携を強化し、地方創生を実現するため、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と連携協定を締結しました。これにより、現在市が整備を進めている農工商振興施設と子育て支援・多世代交流複合施設の事業運営に関する助言やリスクマネジメント支援、保険の提案、セミナーの開催などの面で連携が期待されます。締結式で山田市長は「今後さまざまなリスクに対するアドバイスをいただき、これからのまちづくりに活用していきたいです」と話していました。



▲協定書を手を握り交わす山田市長と廣田範一仙台支店長（右）

ゴールを目指して！ 「激坂」に挑むランナーたち

第31回しろいし蔵王高原マラソン大会

9月10日、南蔵王野営場を発着点とする「第31回しろいし蔵王高原マラソン大会」を開催しました。晴天に恵まれたこの日、全国屈指のアップダウンを誇る「激坂」に、全国から集まったランナー1,446人が挑戦。今大会では3km小学生女子（4年生以下）、10km30～49歳女子で大会新記録が樹立され、本市からも多くの方が入賞するなど、輝かしい成績を残しました。

また、白石中学校が本年度創立70周年を迎えたことを記念して、全校生徒約300人が大会に参加しました。生徒は「アップダウンがきつかったですが、みんなで支え合って走りきれてよかったです」「つらかったですが、周りからの声援のおかげでゴールできました」と話してくれました。



本市の出場選手で3人以上の入賞者は次のとおりです（敬称略）。

- ・3km小学生男子（4年生以下）3位 榊原元翔（白一小）
- ・3km小学生女子（4年生以下）3位 南 優菜（白二小）
- ・3km中学生女子 2位 阿部優希（東中）
- ・5km中学生男子 2位 榊原 巧（白石中）
- ・5km高校生～29歳女子 1位 菅原詩織（東中教諭）
- ・10km30～39歳男子 2位 菅野正直
- ・10km50～59歳男子 1位 菊地 篤



1_5km高校生～29歳女子1位の菅原さん 2_10km50～59歳男子1位の菊地さん 3_勢いよくスタートを切る選手たち